

令和元年度国有林野の管理経営に関する 基本計画の実施状況について

国有林野事業では、国有林野の管理経営に関する基本的な事項を明らかにするため、あらかじめ国民の皆さんの意見を聴いた上で「国有林野の管理経営に関する基本計画」を策定しています。

この計画に基づき国有林野の管理経営を行い、毎年、その前年度における実施状況を公表しています。

この度、平成31年4月から令和11年3月までを計画期間とする管理経営基本計画の1年目に当たる令和元年度の実施状況を公表したことから、その内容を紹介します。

公益重視の 管理経営の一層の推進



重視すべき機能に応じた 管理経営の推進

日本の国土の約2割、森林面積の約3割を占める国有林野は、その多くが奥地脊梁山^{うみやま}地や水源地域に分布し、人工林や原生的な天然林等の多様な生態系を有しており、国土保全や水源涵養^{かんよう}等の公益的機能の発揮に大きな役割を果たしています【図1】。



写真1 針広混交林の造成試験地の様子
(植栽後11年経過)

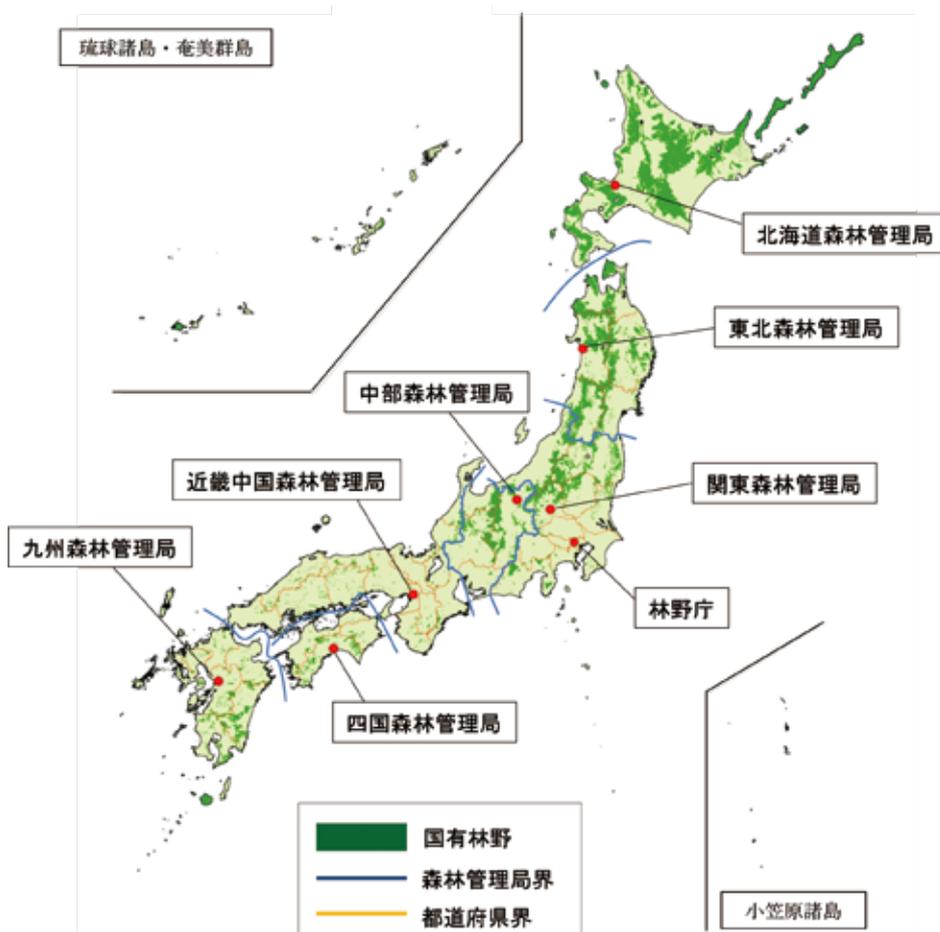


図1 国有林野の分布

国有林野事業では、公益重視の管理経営を一層推進していくため、国有林野を重視すべき機能に応じて5つのタイプに区分し、例えば、水源涵養タイプの森林では、洪水の緩和等を目的として、長伐期施業や針広混交林化等を行うなど、適切かつ効率的に管理経営を行っています。

四国森林管理局では、人工林の伐採後に針葉樹と広葉樹の植栽による針広混交林の造成試験を行っており、平成20年度から植栽等を行った試験地において、針広混交林の成林が期待できる状況になっています【写真1】。

治山事業の実施

安全で安心できる暮らしを確保するため、治山事業による荒廃地の整備や



写真2 無人航空機で撮影した千葉県君津市の倒木被害

災害復旧、保安林の整備等を計画的に進めています。また、大規模山地災害発生時には、ヘリコプターによる広域被害調査や、山地災害対策緊急展開チームの派遣など、民有林への支援も含めた迅速な災害対策等に取り組んでいます。

関東森林管理局では、令和元年9月の令和元年房総半島台風により被害を受けた千葉県や静岡県において、ヘリコプターからの被害状況の調査や無人航空機による民有林野における倒木被害状況の調査を通じた支援等を実施し、東北森林管理局では同10月の令和元年東日本台風により被害を受けた宮城県において、県からの要請を受けて職員を派遣し、甚大な被害を受けた林道施設の復旧に向けた測量や資料作成等を



写真3 宮城県登米市における被災林道の測量

通じた支援を実施しました【写真2】【写真3】。

路網の整備

森林の適切な整備・保全、林産物の供給等を効率的に行うため、林道や森林作業道を適切に組み合わせた路網整備を進めつつ、現地で発生する資材を活用したコスト縮減等の取組の民有林への普及にも取り組んでいます。

また、豪雨災害が多発する中で、被災の危険性が高い地区等に所在する国有林林道において、被災の危険性を低減させるための改良を実施しているほか、橋等の長寿命化を図るため、施設ごとに点検・診断や補修・更新等に関する計画の策定を進めています。



写真4 間伐材を使用した治山ダム

地球温暖化防止対策の推進

二酸化炭素の吸収・貯蔵機能を確保するため、間伐等の森林整備や森林土木工事における木材利用に取り組んでいます。

福島森林管理署では、治山ダムの施工に当たり、木材を井の字の形(井桁)に組み、中に石材を充填する構造(校倉式)を採用し、木材利用に取り組みました【写真4】。

生物多様性の保全

国有林野事業では、「保護林」や「緑の回廊」におけるモニタリング調査等を通じた保護・管理を推進するとともに、多様な森林づくりの推進、森林の適切な保全・管理、施業現場における生物多様性への配慮等に取り組んでいます。

森林・林業の再生に向けた貢献

我が国の森林・林業の再生に貢献するため、国有林の組織・技術力・資源を活用し、民有林経営への支援等に積極的に取り組んでおり、伐採から造林までを一体的に行う「一貫作業システム」や生産性向上に効果的な手法の普及・定着を図る「生産性向上プログラム」等を推進しています【図2】【写真5】。

また、林業事業体の育成に向けた樹木採取権制度の創設や、森林総合監理

全局署において、各年度1事業体以上を目標とした請負事業体の生産性向上の取組を実践。



＜ボトルネック解消の一例（イメージ）＞

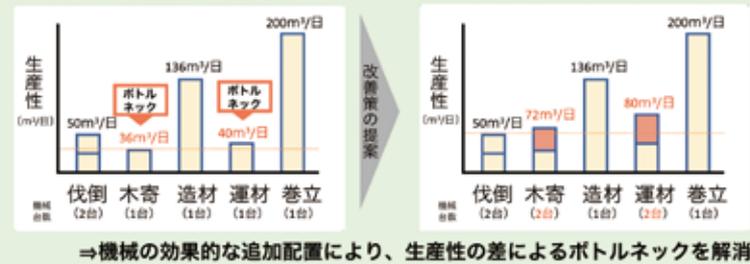


図2 国有林における生産性向上の取組について



写真5 架線を使用した一貫作業システムによる苗木の運搬（四国局嶺北森林管理署）



写真6 工程管理に関する現地検討会



写真7 遊々の森協定に基づく海岸林の清掃活動（北海道檜山郡江差町の砂坂国有林）



写真8 猟友会による現地確認

国民の森林としての
管理経営



士（フォレスター）による技術支援に取り組みました。

大分西部森林管理署と宮崎森林管理署では、日報を活用した工程管理による生産性向上の手法を普及する一環として、地元の林業事業体に参加する検討会を共催しました【写真6】。

国有林野の維持及び保存



また、自ら森林づくりを行いたいという国民の要請も踏まえ、ボランティア団体等と森林管理署等が協定を結び、国有林野を森林づくりのフィールドとして提供する「ふれあいの森」等を設定するとともに、技術指導や助言等の支援を行っています。

学校等と森林管理署等が協定を結び、様々な自然体験等を進める「遊々の森」の設定・活用など、森林環境教育に係るプログラムの整備やフィールドの提供等に取り組んでいるほか、様々な主体と連携して、植樹祭や育樹祭、森林教室等を開催しています【写真7】。

登山利用など来訪者の集中による植生の荒廃等が懸念される国有林野での巡視やマナーの啓発等を行っています。

松くい虫被害やナラ枯れ等の森林病虫害の拡大を防ぐため、地方公共団体や地域住民と連携しつつ、伐倒駆除等の被害対策を進めています。

また、シカによる被害を防止するた



写真9 令和元年度に開催した現地検討会における広葉樹の集材作業



写真10 多言語化された看板



写真11 ボランティアによる海岸防災林の植栽



写真12 実証事業箇所のチップ被覆の様子 (福島県双葉郡葛尾村の大笹国有林)

国有林野の林産物の供給



め、地域の関係行政機関等と連携して、効果的な捕獲技術の実用化や捕獲協力等も含め、総合的な被害対策を行っています。南信森林管理署では、治山工事等の請負事業者と地元猟友会の協力の下で国有林野内のシカ捕獲事業に取り組ましました【写真8】。

令和元年度の国有林材供給量は約432万m³(丸太換算)となっております。森林整備の結果得られる木材の持続的・計画的な供給に努め、地域の林業・木材産業の活性化に貢献することとしています。近畿中国森林管理局では、近年利用されていない里山の広葉樹の活用と再生に関するプロジェクトを実施

し、広葉樹材の需要把握等に取り組んでいます【写真9】。

また、国産材の需要拡大や加工・流通の合理化等に取り組む集成材・合板工場や製材工場等と協定を締結し、国有林材を安定的に供給する「システム販売」を推進しています。

なお、新型コロナウイルス感染症による影響に対しては、各森林管理局における国有林材供給調整検討委員会での意見を踏まえ、令和2年3月から一部の森林管理局において、国が既に売り払った立木を購入者が搬出できる期間の延長を実施しています。

国有林野の活用



優れた景観を有し、森林浴や自然観

その他国有林野の管理経営



東日本大震災からの復旧・復興に向け、地域に密着した国の出先機関として、地域の期待に応えた取組を行っています。

察、野外スポーツ等に適した国有林野を「レクリエーションの森」に設定し、そのうち、特に景観等の優れたものを「日本美しの森 お薦め国有林」として93か所選定して多言語による情報発信等に取り組んでいます。四国森林管理局では、訪日外国人観光客を含む登山者の安全性や利便性の向上を図るため、標識類の多言語化を行っています【写真10】。

国有林野の事業運営



適切な森林整備を通じた収穫量の確保やコスト縮減等による計画的かつ効果的な事業実行に努め、令和元年度は194億円の債務返済を行い、累積返済額は930億円となっております。

被災した宮城県の海岸防災林を復旧・再生するため、民間ボランティアの協力を得て、クロマツや広葉樹の植栽や下刈等の保育作業を実施しました【写真11】。

また、福島県で避難指示が解除された地域において、間伐の実施や伐採跡地へのチップ被覆等の実証事業に取り組んでいます【写真12】(チップ被覆)。